

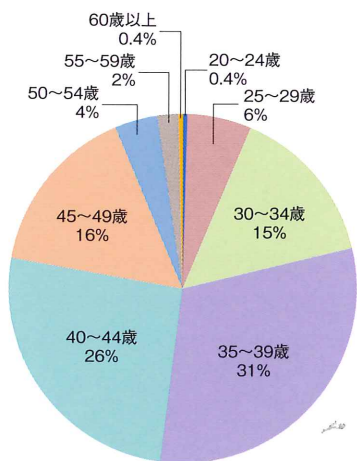
【(一社)女性のための快適住まいづくり研究会:「女性のマンション購入における実態調査」結果】

(一社)女性のための快適住まいづくり研究会は6月20日、「女性のマンション購入における実態調査」の結果を公表した。インターネット調査で、同研究会会員の中から実際にマンションを購入した女性503人を対象に実施。調査期間は5月9日～21日。

マンション購入時の年齢については、35～39歳が31%と一番多く、40～44歳が26%、45～49歳が16%、30～34歳が15%と続いた。また、半数以上の人々が、39歳以下でマンションを購入していることがわかった。

年収は「500万円台」が25.6%でトップ。続いて「400万円台」が25.2%、「300万円台」が13.9%となった。初めて購入したマンションの価格は2,500～2,999万円(27%)、3,000～3,499万円(22%)が多く、間取り・専有面積は1LDK(1DK)で30～49㎡(55%)の人気が高かった。

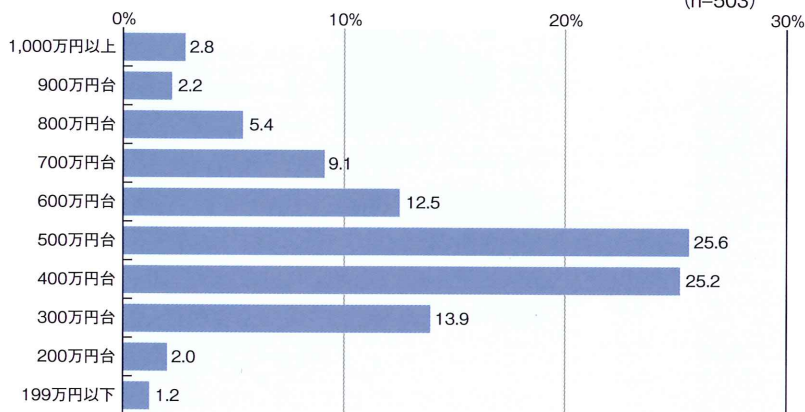
■ 初めてマンションを購入した時の年齢を教えてください。(n=503)



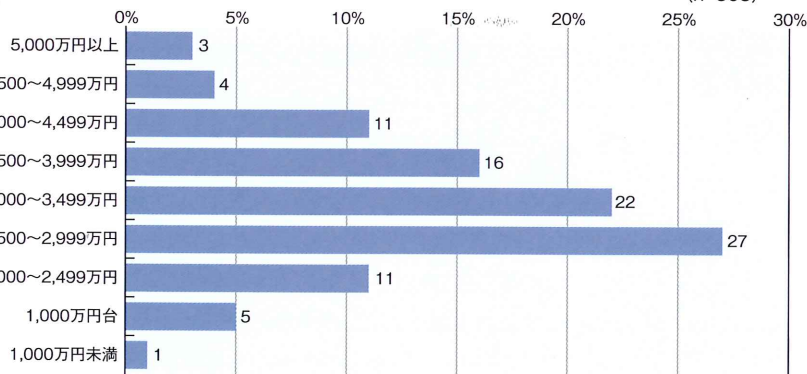
■ 調査概要

調査期間：2016年5月9日～21日
 調査対象：同研究会会員の中から実際にマンションを購入した女性503人
 調査方法：インターネット

■ 初めてマンションを購入した時の年収を教えてください。(n=503)



■ 初めて購入したマンションの価格を教えてください。(n=503)



編集後記

7月18日に九州から東海にかけて一斉に梅雨明けとなりました。いよいよ夏本番となります。今年は猛暑といわれていますので、体調管理に留意して、今年の夏を乗り越えたいものです。

今月号から新しい企画を始めました。これまで佐野先生に関西発の情報として「東京からみえないもうひとつのニッポン」を寄稿していただいていたのですが、新たに食文化を通じた地域活性化などの動きを曾

我先生にご紹介いただくことになりました。

この10数年あまり、地域の食文化に注目する動きが顕在化し、各地における独自の食文化や料理を地域活性化の目玉にしようとする動きが広がっています。また、2013年12月に「和食；日本人の伝統的な食文化」としてユネスコの無形文化遺産に登録されるなど、食文化に注目が集まっています。

これまでの本誌の視点とは異なる視点からアプ

ローチしたレポートになりますので、ご一読いただくと共に今後の展開もご期待ください。

さて、特集レポートでは2016年上半期の首都圏・近畿圏の分譲マンション市場を総括しました。両市場共に新規供給は低調で、特に首都圏ではリーマン・ショック後の2009年同期を下回っています。両市場の現状と今後の見通しをご確認ください。

(豊)